

編集後記

流域圏学会誌の第7巻1号を発刊いたします。

編集・出版委員会委員長を担当しております高知工業高等専門学校の岡田です。

本号では、巻頭言として本学会の北条会長による「2019年の自然災害とこれからの流域圏学会」、つぎに、原著論文として「加古川流域での水資源開発に伴う河川の流況と海域へ流入する河川流量の変化」、解説として「高知県安芸市における平成30年7月豪雨時の浸水被害、避難行動の実態」、「四万十川里川沈下橋の流失原因と対策」に関する2編が掲載されています。また、本学会員でもある大西文秀氏、辻和毅氏の著書の書評を村上雅博氏より寄稿していただきました。ぜひご一読ください。

今後も流域圏学会誌を充実させていく上で、会員の皆様には本学会にふさわしい研究成果や解説、総説、流域紀行等の積極的な投稿をお願いいたします。

(編集・出版委員会 委員長 岡田将治)